

\ ところをつなぐ情報誌 /

うきは

2021.4.15
No.373

掲載記事は4月2日時点で作成しています。
新型コロナウイルス感染症による影響で、掲載記事の変更やイベント等が中止・延期となる場合があります。詳しくは市ホームページ、各問い合わせ先で確認してください。

目次

- 3 令和3年度市職員人事異動
- 4～7 令和3年度一般会計予算
- 8 農業委員、農地利用最適化推進委員の紹介
- 9 新型コロナウイルス感染症に関する偏見や差別を防止／人権擁護委員の仕事
- 10 食生活改善推進員養成教室受講生募集
- 11 食生活改善推進会はどんな活動をしているの
- 12～13 くらしの情報
- 14 後期高齢者健康診査／健康マージャン教室メンバー募集
- 15 うきは市民大学開校式／ボランティア育成講座
- 16 老朽危険建物の解体費助成／ブロック塀等撤去費補助／がけ地近接等危険住宅移転事業
- 17 空家リフォーム事業費補助金／プレミアム付「うきは市スマホ買い物券」
- 18 令和3年度うきは市結婚生活支援事業／花と緑のまちづくり推進補助金
- 19 協力隊通信
- 20 まちの話題

今月の表紙



まるで黄色の絨毯、菜の花満開に

農事組合法人「大春の里」（浮羽町三春）が所有する約6万平方メートルの菜の花畑が、今年も、あたり一面黄色に染まりました。

菜の花畑は、道の駅うきはの高台から見下ろせる場所にあり、例年、開花時期には、うきは市と連携して「菜の花まつり」を開催していましたが、新型コロナウイルスの影響で2年にわたり開催できませんでした。しかし、今年も、市内外の方々がこの菜の花畑を訪れ、たくさんの写真を撮っていました。

また、小さな女の子が青空の下で、菜の花に寄ってきた蝶を、楽しそうに追いかけていました。

「大春の里」は、自然豊かな浮羽町の環境を守っていきたい、孫に食べてもらえる農産物を作るという思いで、小麦を中心に稲作、大豆、そば、菜種などの生産を行っています。

なかでも、菜の花から搾取した菜種油は、うきは市内の小学校、中学校の学校給食にも使用され、揚げ物が美味しいと子どもたちの評判もよいようです。

また、搾油後の菜種油粕はペレット化し、循環型農業の取組を行っており、このような活動に対し、令和元年度に九州農政局地産地消等優良活動表彰を受けています。